



全体構想 ~未来を生きる子ども達に必要な資質・能力を育成するために~

ICT活用で実現しよう!
主体的・対話的で深い学びを導く授業改善
インプット:アウトプット=2:8

「問い」を解決していくために必要なピース

もっているピースとピースをつなぎ合わせるため、そして考えたことの理解を深めたり定着するために必要

江津市が目指す子どもの姿

- ICTを効果的に活用できる子どもの育成
- 必要な情報を選択し、活用できる子どもの育成
- 情報モラルを身につけた子どもの育成

始めの一步は
まず校務から

まずは「挑戦」
まずは「やってみる」

ICT活用の
すすめ

「学校教育で適切なICT活用を身につけること」=「未来を生きる子ども達の『生きる力』」

不易(今までの良さ)×流行(ICT)
のベストミックスを!

ICT活用	ICT活用の目的	授業デザイン・構成	家庭学習	子どもの学びの姿	教師の役割
【児童生徒】学びのステージ:主体的にICTを活用して新たな価値を創造					
R11 R10 R9 Phase 2 (R9~R11年度) 「いつでも、どこでも」 目的に応じて自分のタイミングでICT活用	新たな価値DX	・「問い」や「課題」を自らを発見し、いろいろな知識や技能を統合し、活用しながら自ら解決していく ・情報と情報を適切につなぎ合わせ納得解を導く	・「授業+家庭学習」をワンセットで授業をデザインする	・学習用端末の使い方を自ら工夫して主体的に活用する(調べ方、入力方法、まとめ方、表現方法等) ・学んだ知識・技能・経験を活かし自分の問いを探究する	・今までの教育観や指導法にしばられることなく、子ども達と新たな価値を創造し、持続可能な学びに導く
【児童生徒】学びのステージ:ICTを活用して学びを深める(情報収集・インプット→アウトプット)					
R8 R7 R6 Phase 1 (R6~8年度) 「毎朝、毎日スイッチオン」 登校後タブレット電源オン。(健康観察、タブレットドリル等)	最適化日常化 ・個別最適な学びと協働的な学び(共有・協働) ・まずは間違えてもあまり影響のない校務からスタート!	・個に応じた指導 ・協働的な学び ・家庭学習と連携した学習 ・インプットとアウトプットを効果的に実施し、深い学びの実現 ・学び方を学ぶ	・タブレット持ち帰り(ドリル、授業のまとめ、振り返り、プレゼン・作品制作、調べ学習、NHK for School視聴)	・自分の得意な学び方を模索、理解 ・タブレットの良さを生かす文房具として使用する ・タブレット使用場面を自分で選択する ・自分の「問い」を立てる。(課題発見能力、クリティカルシンキング、物事に主体的に関わる態度)	・「教える人」から子どもたちの問いの解決に導く「ファシリテーター」へ ・子どもにICT活用を任せ ・授業でICTを効果的に活用し、深い学びを実現する授業デザインをめざす

スタート

代替・電子化

< ~R5年度> 授業改善の必要性、ICT活用が必要になった時代背景、ICT活用の必要性の理解 + ICT活用の利便性を実感



江津市ICT情報活用 目標リスト

江津市教育委員会 2025.4

ベースとなる
コンテンツ
(～R7年度)

小学校1, 2年		小学校3, 4年		小学校5, 6年	中学校
操作 (ワード・ エクセル・ パワーポイント・ マイクロソフト edge等)	基本操作	ログイン・ログアウト 写真、ビデオ撮影	主要なアプリケーションの使用	適切なアプリケーションの選択	プログラミングで課題を解決
		ダブルクリック、右クリック、ドラッグ、拡大・縮小等		マルチウインドウ	
	文字の入力	手書き入力	文字の正しい入力方法を知る (15字/1分間)	文字の正しい入力 (40字/1分間)	十分な速さで正確な文字入力 (60字/1分間)
	検索	キーワード検索	・複数キーワード検索 ・画像検索	適切なキーワード検索	・目的に応じて適切な検索方法を選択 ・適切な文章検索
	クラウド活用			共同編集機能を使う	クラウド上の編集権限を設定できる
情報活用 (Teams・ スカイメニュー)	保存	指定された場所に名前をつけて保存	・名前の変更 ・効果的に名前を付けて保存	ファイルの検索	
	収集	身近なところから様々な情報を収集できる	様々な収集方法を知り情報を収集できる 調査、実験、観察から情報を収集できる	調査、実験、観察から得た情報を必要に応じて組み合わせて収集できる	アンケートを実施し、その結果から情報を収集できる
	分析・思考・ 整理	目的に応じて考えや思いを整理する必要があることを知る 自分の考えをもつ、他者の意見を知る	思考ツールを活用しながら目的に応じて、表やグラフを活用しながら情報や伝えたいことを事実と意見、全体と部分などに分けて整理する	・複数の情報を読み解く。 ・目的に応じて、情報や伝えたいことを事実と意見、全体と部分などに分けて整理する	集めた情報を分析、精査する
プログラミング的思考	表現・発表 情報発信	相手を意識して、相手に伝わるように発表する	相手や目的に合わせて発表する	相手や目的に合わせて複数の表現手段を組み合わせて適切に発表する	相手や目的に合わせて手段、情報の選択をして効果的に発信する
	情報モラル	順序立てて説明することができる	見通しをもち、 順序立てて説明することができる	説明する手順をフローチャートで表すことができる	安全で適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる
情報モラル・ 情報セキュリティ	情報モラル	学年段階に応じたインターネット使用時のルールを理解する(※文部科学省資料「情報モラル指導モデルカリキュラム表」参照)			
	情報セキュリティ	個人情報の大切さ、取り扱いについて理解する	インターネットの情報の真偽を判断する	ルールやマナーを守ってインターネット上で発信ややり取りをする	